

## H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	千歳町	安全安心のまちづくり1 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の 推進について  1. 整備構想について	この構想は、川東地域の文化財や史跡などの地域資源の保全と活用により、魅力的な地域づくりに繋げていこうということで、史跡丹波国分寺跡の整備については、史跡の追加指定を受ける中で史跡の公有化と併せて環境整備や説明板の設置等を進めてきたところですが、整備実施計画策定から10年が経過する中で社会的ニーズの変化等を踏まえ、昨年度に基本計画の見直しを行ったところであり、平成30年度は整備基本設計を行い、次年度以降の整備に繋げていきたいと考えています。 史跡公園の整備については、保存・保全が基本であり、史跡公園の中で造成を行っている部分もありますので、その部分を暫定的に仮設駐車場として使用することは可能と考えますが、進入路等が狭いという状況があり、その整備については補助金がありませんので課題であると考えています。	教育部長	②実施予定	今年度は、整備基本設計を行っており、来年度から、整備基本計画を基に整備を進めていきます。
2	千歳町	安全安心のまちづくり1 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の 推進について  2. 七福神めぐりの道路整備等	丹波七福神めぐりの道路整備については、川東地区の恵まれた自然や価値ある歴史・文化を活かし、観光振興と地域の活性化を図るため事業取り組みを行ってきたところですが、社会情勢や国営等大型事業が当地域に入るという背景もあり、平成15年度から地元のご理解を得た上で事業休止し、現在に至っているところです。 七福神を巡るルートについては、地元においても検討いただきましたが、市道だけではなく里道や民有地も含めたルート設定となっています。亀岡市としても、段階的に実施可能なところを整備していくという考えでこれまで進めてきたところですが、平成26年度から小口区において、七福神ルートということではないかもしれませんが、4町の広い範囲での地域振興という意味で旭町に通ずる市道美濃田平野線の道路改良事業に取り組んでおり、まずは事業推進に努めたいと考えています。この工事内容については、周辺の景観に合った整備を心掛けており、自然石を用いた石積み工法の採用にも配慮しているところです。 また、提案にあるように、中区の金光寺と北谷区の耕雲寺の距離が近いということで、旧府道を使っても回れますが相当遠回りになり、幸いどちらのお寺の前にも市道が来ていますので、検討できる状況にはあると考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
3	千歳町	安全安心のまちづくり2 「高齢化がすすむ中で」地元で安心して 住み続けることが出来るまちづくりについて  ①高齢者の「足」の確保策	千歳町にはふるさとバスが走っており、亀岡駅及び千代川駅方面にはアクセスが可能ですが、平成25年度に策定した亀岡市地域公共交通計画が平成30年度で終了するため、新たな計画を立てようとして取り組んでおり、各町自治会にヒアリングを行っています。これを受けて出てくる課題やこれまでからの課題を集約し、どのようなバス交通にしていくのか計画を立てようとしているところです。 高齢者の「足」の問題については、亀岡市内のどの地域でも同じ内容であると思えますので、議論する課題になると考えています。しかし、公共交通は決まった時間、決まった場所に停車するというのが基本ですので、これまで自家用車を利用されていた方で免許返納された方にとっては、自家用車の利便性を公共交通でカバーできるかは難しい問題であると考えています。 現在、交通空白地域である東別院町では、地域の方々で送迎を行うシステムに対して亀岡市が補助金を出しているという事例があります。ただし、千歳町にはバス路線があり、交通空白地域とは言えず、この補助金には該当しませんが、亀岡市内のどの地域でも同じ問題がありますので、公共交通以外でも検討しなければならない課題であると認識しています。また、南丹病院、市立病院への交通確保については、JR沿いに新たに開通した道路で亀岡駅から市立病院に向けて4月からバスを走らせています。 皆さまの要望も理解できますし、それに近づけようとはしていますが、実施しても利用人数がないという事実もあります。まずは利用していただくこと、生活スタイルを考えていくことも含め、新たな計画を作る中で協議したいと考えています。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。

## H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
4	千歳町	安全安心のまちづくり2 「高齢化がすすむ中で」地元で安心して住み続けることが出来るまちづくりについて ②「集える場所」づくりへの行政支援	地域の生涯学習の拠点となる自治会館や区の集会所の支援については、亀岡市生涯学習施設整備事業補助金交付要綱により、自治会館等の改修に一定の補助金を交付しています。町の自治会館の補助率は40%、限度額が200万円、区の集会所の補助率は10%、限度額が100万円です。また、区の集会所については、小規模修繕もたくさんあることから、20万円以上の小規模修繕も補助できるよう今年度見直しを行ったところです。自治会館等の改修については、この制度を利用させていただきたいと考えています。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
5	千歳町	安全安心のまちづくり2 「高齢化がすすむ中で」地元で安心して住み続けることが出来るまちづくりについて ②「集える場所」づくりへの行政支援 ③介護予防活動への更なる支援の充実	千歳町の65歳以上の人口は40%を超えており(亀岡市は28.5%)、高齢化が進んでいる状況です。一方、5年間で人口が120人ほど減っている状況であり、非常に難しい問題であると感じています。また、民生委員・児童委員の方に福祉票を作成いただいています。高齢者世帯が44世帯、一人暮らし世帯が41世帯あり、この方々をどのように見守っていくかが非常に難しくなっています。先日の大雨の際には、避難行動要支援者名簿を自治会及び民生委員に初めて配布させていただき、見守りをお願いしたところです。 老人福祉施設等整備事業補助金については、平成23年度に京都府の地域包括ケア総合交付金を使っての重点整備を各自治会に照会させていただき、千歳町は8区すべてが挙手され、空調整備やカラオケセット、トイレのバリアフリー化等に取り組んでいただきましたので平成24年度以降は実施していません。 現在、集える場所づくりについては、社会福祉協議会にも入っていただいて全市的に進めており、その状況を見ながら施策を考えていく必要があると考えています。ただし、介護保険事業の中であり、あまり自由度がない点をご理解ください。 また、ちとせさわやか健康センターで高齢者介護予防拠点活動支援事業を取り組みいただいています。平成29年度は、49日間で903人の参加があったと聞いています。この事業とも組み合わせていただきたいと考えています。	健康福祉部長	⑥その他	「集える場所」への行政支援としては、地域性も鑑みながら、資金のこと、後継者のこと、集える場でのツール(ノウハウ)の提供のことなど、亀岡市社会福祉協議会、行政や市民メンバーと共に協議する場(協議体・勉強会の場等)を通じ、多面的に相談を受け付ける体制を整えています。
6	千歳町	安全安心のまちづくり2 「高齢化がすすむ中で」地元で安心して住み続けることが出来るまちづくりについて ①高齢者の「足」の確保策 ④「元気な高齢者」が雇用を含め活躍できる環境づくり	高齢者が支えられる側にありますが、元気な高齢者は支える側に回っていただきたいと考えています。介護保険法の総合事業として「移動支援」も位置付けられています。通院等を支援するボランティア組織に対して助成することも可能ですので、ボランティア組織を立ち上げようという方がいらっしゃいましたら、高齢福祉課(生活支援係)へご相談ください。助成金の中で必要経費を支払うことも可能です。	健康福祉部長	⑥その他	高齢者の「足」の確保につきましても、「集える場所」への支援と同様に、地域性も鑑みながら、亀岡市社会福祉協議会、行政や市民メンバーと共に協議する場(協議体・勉強会の場等)を通じ、多面的に相談を受け付ける体制を整えています。
7	千歳町	【質問事項等】 高齢者の年齢引き上げ	高齢者の年齢引き上げについては、75歳まで引き上げるよう老人学会が提言されていますので、国も見直しをしてくると考えています。しかし、その裏には社会保障の年齢を引き上げということもあります。	健康福祉部長	⑥その他	事業により対象年齢は様々なところがありますが、多くの事業を70歳以上として実施しています(65歳以上、75歳以上の事業あり)。
8	千歳町	【質問事項等】 追加. 敬老乗車券について	20枚綴りを2冊で1人40枚ご利用いただくことができます。1枚あたり125円でお求めいただいておりますが、実際は250円掛かるものであり、差額の125円を市が負担している状況です。 これは、敬老事業の補助金を減額させていただいたことにより、その財源を活用し実施している事業であり、財源的に1人2冊までとさせていただいています。	健康福祉部長	⑥その他	高齢者の移動手段の確保及び外出促進並びに市内のバス交通機関の利用促進と地域格差の是正を目的とし、今年度は75歳以上から70歳以上に年齢を引き下げ、より多くの方に利用していただけるよう充実を図っています。

## H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
9	千歳町	土砂や大雨に対する防災・減災対策 (京都府への働きかけを継続されたい) について 1. 国分区石松1付近の溪流・斜面の 流木撤去	国分区石松の流木撤去については、昨年度一部調整の上、流木の撤去を中心に 対応するという事で、京都府の豊かな森を支える府民税を活用した「未来へつなぐ 安心・安全のもりづくり事業」に申請していただき、今年3月に京都府が地元説明を行 い、昨年度要望のあった国分区、毘沙門区、出雲区、七谷川の4箇所の危険流木の 撤去を今年度に行くと聞いています。現在、事業実施に向けた手続きを進めていると 聞いていますので、流木の撤去については対応できると考えています。 本来は治山ダムをということで要望をいただいておりますが、亀岡市内では年に1基 が実施されている状況であり、各町から数十箇所の要望があること、また国分区の上 には既に2基あるということから、優先順位が低くなっているのではと考えますが、継 続して要望いただければと考えています。	産業観光部長	①実施 ④要望	流木撤去については、対象4箇所は7月末に京都府より発 注が行われておりますが、台風や9月豪雨の関係で作業が 遅れていると府より報告を受けております。治山ダムの要望 については、こん談会での回答のとおりです。
10	千歳町	土砂や大雨に対する防災・減災対策 (京都府への働きかけを継続されたい) について 2. 江島里区蔵宝寺東からの出水防止 対策	下流域(住宅地内)への流入対策のための流路工を単独で設置する項目が治山 事業にはなく、治山ダムと合わせた事業であれば可能性はありますが、市内での要 望が多いため早期対応は難しいと考えています。 農地水の補助金がうまく活用できればと思いますので、検討される場合は、農林振 興課に相談していただくようお願いいたします。	産業観光部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。
11	千歳町	土砂や大雨に対する防災・減災対策 (京都府への働きかけを継続されたい) について 2. 七谷川(ふれあい橋上流)の土砂浚 渫	多くの地域から要望があり、順次緊急性のあるところから実施しています。当該地を 確認したところ緊急を要するまでには至っておらず、経過観察をする中で景観等にも 配慮しつつ、今後検討したいと考えています。 また、護岸の損傷箇所については、砂防河川を担当する京都府南丹土木事務所 に連絡済です。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	当該区間の堆積土量については、速やかに浚渫を実施し なければならぬ程河川断面を冒していないため、引き続き 経過観察とさせていただきます。
12	千歳町	土砂や大雨に対する防災・減災対策 (京都府への働きかけを継続されたい) について 3. 小口区中谷川上流域の整備事業 化、堰堤の浚渫	整備については、従来から地元要望や府民公募型整備事業で要望をいただいて おり、昨年度、京都府において測量及び概略設計業務を実施されました。今年度 は、詳細設計を実施される予定と聞いています。 ただし、当該地は公団混在地であるため、詳細設計をふまえて用地の整理を進める 必要があると聞いていますが、早急に事業実施していただくよう京都府に強く働きか けていきたいと考えています。 浚渫については、砂防設備としての機能に支障がないと京都府が判断しており実 施されていません。経過観察は続けるとされていますので、地元でも引き続き現地確 認をしていただき、状況に著しい変化があった場合には、京都府に対応を求めてい く必要があると考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
13	千歳町	土砂や大雨に対する防災・減災対策 (京都府への働きかけを継続されたい) について 3. 旭町境の北谷川の尻無し川解消整 備	京都府において平成23年度から調査検討がされており、流末処理を小口地区のほ 場整備で整備した排水路を利用し、平の沢池へ流下させるルートで千歳町・馬路町 自治会の了承を得たところです。 砂防事業の指定区域は府、下流域は市が対応しますが、下流域を先行してではな く、府と並行して実施できるよう京都府に働きかけていきたいと考えています。 なお、本件は旭町からも要望が出されていますが、危険性・緊急性の高い境川を優 先的に実施することで南丹市等と準備を進めています。	まちづくり推進部 事業担当部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。

## H30 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
14	千歳町	土砂や大雨に対する防災・減災対策(京都府への働きかけを継続されたい)について 4. 出雲台区の東を流れる堅谷川に繁茂する草木の除去	河川構造物の修繕や災害対応、土砂の浚渫は市で対応していますが、日常的な草刈り等は地元で協力をお願いします。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
15	千歳町	【質問事項等】 追加. 七谷林道の復旧について	擁壁の下から土砂が流れ出ているところがあり、場合によっては、現在の擁壁を取り除いて作り直すことも含めて検討が必要と考えています。 災害対応の要望を国・府にしていく中で対応したいと考えており、激甚災害の認定になれば9割補助、1割地元負担になるかと考えています。	産業観光部長	①実施	7月豪雨による林道七谷線3箇所(3箇所)の被災箇所については、災害復旧事業にて国の査定を受け承認されましたので、今後復旧工事の手続きを進めていきます。
16	千歳町	生活上の安全安心につながる公衆街路灯及び道路反射鏡の新設、防火水槽の移設(新設)、等の要望実現について 1. 公衆街路灯の新設要望	市内から多くの要望が出されており、小中学校の通学路等を最優先として順次対応しています。 今年度も全体を取りまとめ、順に実施しますので、町内でも優先順位を決めていただきたいと思います。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	平成30年度、国分区、北谷区の要望箇所について設置しました。
17	千歳町	生活上の安全安心につながる公衆街路灯及び道路反射鏡の新設、防火水槽の移設(新設)、等の要望実現について 2. 道路反射鏡の設置要望	市内から多くの要望が出されており、優先順位を決めて順次対応しています。 千歳町では毘沙門区のボックスカルバート出口付近が第一優先であるとのことですので、今年度対応をしたいと考えています。 出雲台区の準市道からの安全確認のためのミラーについては、地元対応となります。設置される場合は、市から1/2補助をしていますので、設置場所も含めて検討していただきたいと思います。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施 ⑥その他	平成30年度、市道の要望箇所について設置しました。
18	千歳町	市道整備と準市道、交通安全対策について ○府道亀岡園部線の交通安全確保	平成26年に府民公募型整備事業に応募いただき、一部京都府で対応されたと聞いています。新たに府や公安委員会に要望される際は、市としても後押しをしていきたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
19	千歳町	市道整備と準市道、交通安全対策について ○市道整備等	出雲台区内の準市道化については、亀岡市準市道認定基準要綱に基づき、1団地1路線を認定することで市内統一しており、出雲台区でも平成30年4月1日付で1路線を認定しましたのでご理解ください。 市道小口美濃田線については、継続して実施したいと考えています。 市道北所1号線については、市内の優先順位の中で順次対応していきたいと考えています。 江島里3号線の市道認定については、所有権登記の整理がされていないため認定できない状況です。他の地域でも所有権等の整理については地元で行っていただいております。これまでの状況も確認したうえで、前に進められるよう検討したいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。